

議 事 録

会議名	令和5年度第2回寒川広域リサイクルセンター運営委員会		
開催日時	令和6年3月19日（火） 14時00分～15時10分		
開催場所	寒川広域リサイクルセンター 多目的室		
出席者名、欠席者名及び傍聴者数	出席者 石田委員長、金子副委員長、菊地委員 事務局 大山環境課長兼リサイクルセンター場長、赤井副主幹 傍聴者 なし		
議 題	(1) 資源物搬入・搬出量について (2) 施設見学者数について (3) 長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について (4) その他報告		
決定事項	—		
公開又は非公開の別	公開	非公開の場合その理由（一部非公開の場合を含む）	
議事の経過	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 資源物搬入・搬出量について 【事務局】 <資料1により説明></p> <p>(2) 施設見学者数について 【事務局】 <資料2により説明></p> <p>(3) 長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について 【事務局】 <資料3により説明></p> <p>(4) その他報告</p> <p>4 閉会</p>		

◆**質疑応答**◆

(1) 資源物搬入・搬出量について

【石田委員長】令和4年度と令和5年度を比べた場合、単純に寒川でも茅ヶ崎でも世帯が増えているのではないかと思う。その中で、搬出率を比較した場合、前年度よりも割合が上がっているということは、分別の状態がよくなっているということか。

【事務局】搬出率だけで見れば、世帯数が増となっている中、搬出割合が前年度より増えているので、そうとも言えるのかもしれない。

【菊地委員】施設の設備が更新されていけば、選別の質も上がるだろうから、こういった部分もあるかもしれないので、住民の分別の質が上がったということが言えるかどうかは微妙なところかと思う。残渣として廃棄するものが減れば、成果物として出すものは増えると思う。

リサイクルセンターが開設して10年以上経っているので、搬入量や搬出率の比較を、今年度と前年度という近い年ではなく、開所当時との比較や、5年おきぐらいで比較をすれば「これだけ良くなった」ということが分かるかもしれない。

【事務局（課長）】確かに比較する年が近いと、傾向を見るのは難しいかもしれない。

【金子副委員長】茅ヶ崎で分別が始まったことでも違いがあると思う。

【事務局（課長）】茅ヶ崎でも、住民向けにプラスチック製容器包装の出し方が悪いということ、ずいぶん広報していると聞いている。その効果か、中身についてはだいぶきれいになってきている。異物がプラスチック製容器包装の中に入ってくるたびに、茅ヶ崎市へは写真付きで報告をしており、茅ヶ崎ではこの資料を使って回覧板などで周知に努めているとのこと。

【金子副委員長】ごみは、みな自分の都合で捨ててしまう。近所の集積所では、以前、平塚市の住民のごみが出されていた。集積場所は目立たないところに作りたいが、そうもいかない。収集も不便になってしまうだろうし…。藤沢市の戸別収集はどうかだろうか。

【事務局（課長）】戸別収集は、もともとは、ごみの減量化のために始めたもの。家の前から取っていくので、住民も「自分の出したごみ」という意識を持つため、「ルールに従って分別しよう」と考える。結果、可燃ごみの量が減る。国の試算によると、ごみ袋1リットル2円くらいの設定にすると、ごみの量が減るという結果があるようで、藤沢、茅ヶ

崎ともこの値段設定にしていると聞いている。戸別収集とゴミ袋有料化によって、藤沢ではだいたいがみの量が減っているようだが、燃えるごみは減るが、分別をしっかりとすることによって、プラスチック製容器包装は増えるということもある。

もう一步意識が進んで、「これはごみになるから買うのを控えよう」とか「ゴミで出す時に困るから買うのをやめよう」となれば、全体として減ってくるのかなとは思っている。

戸別収集になって袋の値段も高くなると、不法投棄されてしまうというリスクも考えられる。

【金子副委員長】 コンビニは迷惑を被るだろうと思う。

【菊地委員】 戸別収集となると、収集業者が大変になる。

【事務局（課長）】 藤沢は可燃ごみ以外にも戸別収集しており、これは全国的にも珍しい。どこもまずは可燃ごみを減らしたいから、まずは可燃ごみだけ戸別収集という所が多い状況。町にも、戸別収集を希望する意見が来るが、「戸別収集するのは可燃ごみのみで、他のごみは集積所に持って行くようになります」という説明をすると、「だったらいい」ということになる。全品目を戸別収集すると、収集業者も人集めが大変。一時は出来ても、継続的に実施するのは難しくなっていくこともあるのではと思う。

【石田委員長】 生活するうえで、ごみの問題は切っても切れないもの。出来るだけ多くの方に今のような話を聞いていただいて、ルールを守ってもらうことが一番。

【菊地委員】 不燃残渣は売却しているのか。

【事務局（課長）】 可燃も不燃も、残渣は環境事業センターへ持って行って処分している。不燃は、破碎して出てきた金属などは有価物として茅ヶ崎市が売却。有価物以外の物は、茅ヶ崎市で焼却となります。

【菊地委員】 不燃ごみは、本来入ってきてはいけないのだが…

(2) 施設見学者数について

【金子副委員長】 小学生ばかりではなく、大人も見学に来てもらいたい。分別して出すのは大人だから。

【事務局（課長）】 先日、衛生指導員の会議があり、200 人くらいいる内の 9 割くらいの出席があった。4 月と 5 月の平日と休みの日の 1 日ずつの日程で、リサイクルセンターの見学会を予定している。申し込みは

これからだが、なるべく多くの方にご参加いただきたいと思います。

子供が見ることも、家に帰ってから「このごみ違うよ！」と言ってもらえるので、これはこれでいいことと思っている。

【菊地委員】寒川の見学団体が、茅ヶ崎に比べると少ないように思う。見学できる施設だということを知らない人が増えているのでは。新しく住民になった人の中には、自治会に入っていない人がずいぶんいる。分別ルールが分からない人も多いように思う。自治会に入らなくても分別ルールはしっかり指導する、というチャンスがないと、手選別の皆さんがどんどん大変になってしまう。何とか施設見学をしてもらって、認識をしっかりと持ってもらうことが大切では。

【金子副委員長】施設見学を、町主導で出来ないか。

【事務局】令和6年度に、町とリサイクルセンター主催の見学会の実施を考えている。

【金子副委員長】広報などで募集の記事を出せば、興味のある方は来てくれるのでは。

【菊地委員】見学者は、年度の前半は多いが、夏以降はそうでもなくなってくる。

【事務局】夏までの時期は、学校関係では遠足の中でリサイクルセンターの見学も、という所もあるようだ。1学期の春の遠足、2学期の秋の遠足ということなのかもしれない。

(3) 長期包括運営責任業務に係る年間運転計画について

【菊地委員】小動神社に、エコセンター湘南からベンチが寄贈されている。地域貢献ということでこの地区に寄贈されているのだと思うが、PRのために、いろいろな自治会に寄付されたらどうか。

【事務局（課長）】エコセンター湘南にも確認してみる。

【菊地委員】「エコセンター湘南（寒川広域リサイクルセンター）」という表記にすれば、認知していただけるのでは。リサイクルセンターがクリーンセンターだった頃は、煙が出ているのが見えるので分かるのだが、リサイクルセンターはそういう目印はないので。

加えて、調整池用の草地の利用について。年に数回草刈りしていると思うが、有効活用する計画はないのか。「入ってはいけない場所」のように感じる。例えば住民に開放するとか。草地は町の敷地か。

【事務局】草地も含めて、リサイクルセンターの敷地と建物は町が管理

している。

【金子副委員長】 インターンシップとは。

【事務局（課長）】 学生の職業体験のようなもの。就職活動をしながら会社での職業体験をして、就職先を決める一助としてもらいつつ、会社側としては人材を確保したいというマッチングのような制度。いつでも受け入れる体制は整っているのだが、なかなか学生が来ないのが現状。

(4) その他報告

事務局：7月の会議の時にお知らせした、ペットボトルを回収して再びペットボトルに生まれ変わらせる「ボトル to ボトル」について経過報告。

県内でも取り組みを開始している自治体が多くなり、近隣では海老名市や綾瀬市、藤沢市などが実施している。

ペットボトルを作る時には、リサイクル材を使っているということが評価されているため、各飲料メーカーも使用済みペットボトルの確保を進めている。新たな素材からペットボトルを作るよりも、二酸化炭素排出量が抑制されるということもあり、飲料メーカーも行政も取り組みを進めている状況。

町としては、地元から出た使用済みペットボトルが、地元に戻って新たなペットボトルに生まれ変わるという循環を、目に見える形で実現するために、地元企業と協力して行けたらと考えている。飲料メーカーだけでなく、行政としても、「ペットボトルをリサイクルすることで新たなペットボトルを作る」ことで、地域循環を可視化するとともに、二酸化炭素排出抑制につながる取り組みを進めるために、今後も実施に向けて飲料メーカーと継続して協議していく予定。

2点目の報告。来年度、リサイクルセンターと町主催の施設見学会の開催を予定している。他の見学日程等と重ならないよう調整したうえで日程を確定させ、広報等で参加者を募集する予定。

これまで、委員の皆様からも「施設を見学して手選別の作業を見てもらうことで分別意識も高まるのでは」というご意見をいただいております。見学申し込みを待つのではなく、こちらからの発信で、より一層分別の啓発とリサイクルセンターのアピールが出来たらと考えている。

今年度は、昨年11/23の祝日に小学生を対象とした紙すき体験を行ない、あわせて施設見学も実施した。イベントと抱き合わせの見学だった

ので、通常の見学と同じような内容だったのだが、来年度実施予定の町主催見学会では、より一層内容を精査していきたいと考えている。

3点目の報告。7/21に、「花壇ボランティアを募集します」というポスターを、花壇内に看板を立てて張り出したところ、2名の応募があった。現在は、合計3名で活動していただいている。意欲のある方が増えたので、長年お一人で活動してこられた方も、張り合いがあるとおっしゃっている。

今はクリスマスローズや町の花でもある水仙が見頃。撮影メインに、花を目当てに訪れる方もいて、そういった方がボランティアの方とお話しされることも多いようで、こういったことも励みになっていると伺っている。

最後の報告。リサイクルセンター外周の砂利道の深くえぐれている部分については、昨年夏に道路課に依頼し、新たな砂利を敷いてもらったので、現在はスムーズに走行できるようになっている。

長年舗装がされない経緯について、担当の道路課に確認したところ、「本来はリサイクルセンター建設時に舗装される道路だったと考えられるが、それがされなかったということは、当時の地元からのご意見やご要望があり、未舗装のままになっているのではないか」とのことだった。

もし、自治会の方で舗装のご希望がある場合は、自治会長から道路課へ要望していただけたらと思う。

【菊地委員】砂利道を通るのは、トラックではなく乗用車か。主にリサイクルセンターに通勤する人だと思われるが。

【事務局】搬出入のトラックは、橋の道を使って敷地内に入るので砂利道は使っていない。リサイクルセンターの職員は、朝の時間は敷地内を通って駐車場に抜けられるようになっており、終業後は砂利道を使っている状況。

【菊地委員】年に何度か砂利が入るのならば、今日も通るのに差し支えなかったもので、特に舗装まではしなくてもいいと思う。

【事務局】砂利の溝が深くなる前に、こちらから要望するように努める。

【事務局（課長）】ボトル to ボトルについては、町もぜひ進めていきたいと考えている。

ペットボトルは、洋服やプランターにリサイクルされるが、これは最終的に使えなくなるとごみになり焼却されてしまう。ペットボトルからペットボトルへのリサイクルは、永遠にペットボトルを作り続けることが出来るので、ごみとならずに循環させることが出来るので、ぜひ地元

でこれを進めていきたい。

海老名に工場があるコカ・コーラさんから、取り組みについての営業があり話をしている。お声かけは大変ありがたいのだが、地元でキリンビバレッジさんがあるので…ということも考えてしまう。

海老名のコカ・コーラさんと地元のキリンビバレッジと、という部分で皆さん感覚的にどうお感じか。茅ヶ崎と寒川のペットボトルが、という意味で。

【菊地委員】 地元で工場があるので、地元でという方が分かりやすいかと。

【事務局（課長）】 茅ヶ崎と寒川のペットボトルが、また寒川の工場に帰ってきてペットボトルになっていますよという説明の方が、住民の皆さんにも分かりやすいのではという感覚かと思う。

【菊地委員】 茅ヶ崎にはペットボトルを使用する工場はないのか

【事務局（課長）】 明治乳業があるが、紙パック製品なので、ペットボトルを扱う工場はない。キリンは、町にお住まいの方はあそこに工場があるということを皆さんご存じだと思う。

【菊地委員】 工場があることも皆知っているし、夏祭りなどで住民が参加できるイベントもやっている。それ以外には、なかなか構内に入れる機会はないが。

【金子副委員長】 一般の工場見学などで、結構人が来ている。

【事務局（課長）】 キリンも工場見学に力を入れており、工場見学がブームにもなっていることもあるので、休みの日などはいろいろな場所から来ているようだ。

【菊地委員】 やっぱ地元のキリンと、と思う。寒川の工場ではペットボトルを製造しているのか？

【事務局（課長）】 一旦はリサイクル業者がペットボトルを引き取って、ペットボトルをきれいにしてから砕いて、ペットボトルを作る原料の状態にする。これが寒川の工場に戻ってくる。

【菊地委員】 新しいボトルに中身を詰めるだけではなく、ペットボトルを作る機械がある？

【事務局（課長）】 そのとおり。

【金子副委員長】 町主催の見学会について、通常の見学と違うことをとこのことだが、花壇にあるペットボトルで作った風車、こういったものを作ってみてはどうか。

【菊地委員】 捨てないで楽しめるものを作れるといい。

配付資料	資料1 資源物搬入量・搬出量実績（令和6年2月末現在） 資料2 令和5年度寒川広域リサイクルセンター施設見学者数 資料3 令和5年度年間運転計画
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	菊地 米秋 (令和6年4月17日確定)